

産業廃棄物処理計画書

2024年6月17日

新潟市長 殿

提出者

住所 新潟県柏崎市駅前1丁目3番1号

氏名 株式会社 プルボン

代表取締役 吉田 康

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

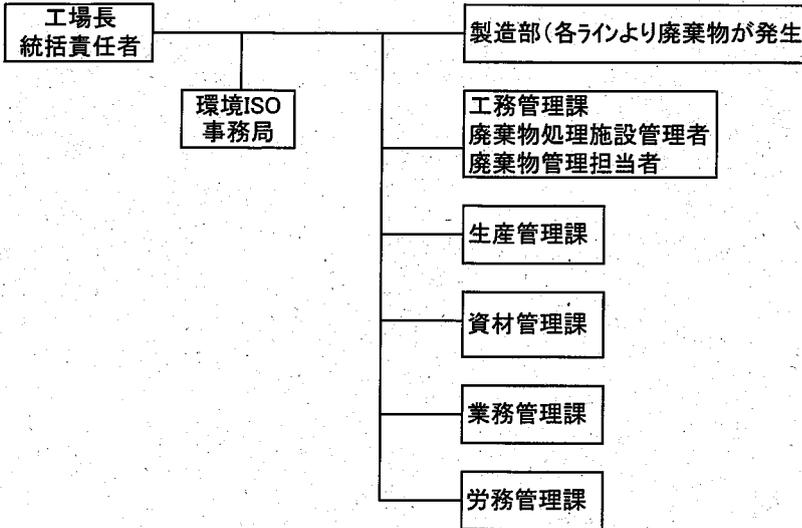
電話番号 025-72-2333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 プルボン 新潟南工場
事業場の所在地	新潟県新潟市南区西萱場610
計画期間	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ビスケット類・干菓子製造業
② 事業の規模	年間生産金額: 193億1198万円
③ 従業員数	646人 (2024年3月31日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (2022年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	排出量	3,313.70 t	1.88 t	120.48 t	539.69 t	1.09 t	0.06 t	0.91 t
	産業廃棄物の種類							
	排出量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001活動を通じて、動植物性残渣、廃プラの発生率低減活動への取組み ・動植物性残渣の一部を有価物として搬出。 ・器具、備品の洗浄において拭き取り作業の徹底で排水のBOD濃度を低減し、汚泥の発生量を抑制する。 								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	排出量	3,200.00 t	0.80 t	115.00 t	520.00 t	1.00 t	0.05 t	0.90 t
	産業廃棄物の種類							
	排出量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
<ul style="list-style-type: none"> ・排水処理場の脱水機で、汚泥の凝集剤を検証し脱水汚泥の水分値を下げし、脱水汚泥の排出量を抑制する。 								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラ、動植物性残渣、汚泥、廃油にそれぞれ分別。 ・それぞれの種別ごとに保管場所を区分け、表示を行い分別を行っている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物性残渣で飼料になるべきものの分別を徹底させ、動植物性残渣の発生を抑制する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度 (2023年度) 実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・実施は無し									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・実施予定は無し									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度 (2023年度) 実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥							金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,770.72	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・汚泥は脱水を実施。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥							金属くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,600.00	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・排水処理場の余剰汚泥の脱水機を設備更新し、汚泥濃度を適正に管理し、脱水汚泥の排出量を抑制する。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (2022年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

- ・実施は無し

【目標】

① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

- ・計画は無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (2022年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	全処理委託量	238.48 t	1.88 t	120.48 t	539.69 t	1.09 t	0.06 t	0.91 t
優良認定処理業者への処理委託量	91.70 t	0.25 t	84.93 t	167.53 t	1.09 t	0.00 t	0.00 t	t
再生利用業者への処理委託量	238.48 t	1.63 t	79.50 t	391.08 t	1.09 t	0.06 t	0.91 t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	94.51 t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

- ・廃プラの分別の細分化により有価物の量を増加させた。
- ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。

① 計 画	【目標】	汚泥	廃油	廃プラスチック	動植物性残渣	木	ガラス等	金属くず	
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	230.00 t	0.80 t	115.00 t	520.00 t	1.00 t	0.05 t	0.90 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	90.00 t	0.15 t	82.00 t	162.00 t	1.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	230.00 t	0.25 t	77.00 t	379.00 t	1.00 t	0.05 t	0.90 t	t
	認定熱回収業者への処理委託料								t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				95.00 t				t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								t
	優良認定処理業者への処理委託量								t
再生利用業者への処理委託量								t	
認定熱回収業者への処理委託料								t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								t	
(今後実施する予定の取組)									
<ul style="list-style-type: none">・委託先処理業者には定期的に現地確認を行う。・再生利用可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。									
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 ブルボン 代表取締役 吉田 康	提出者の住所	新潟県柏崎市駅前1丁目3番1号
事業場の名称	株式会社 ブルボン 新潟南工場	事業場の所在地	新潟県新潟市南区西萱場610
内容年度	2023 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
汚泥	現状	3,313.70	0.00	0.00	3,770.72	0.00	238.48	91.700	238.48	0.00	0.00	
	計画	3,200.00	0.00	0.00	3,600.00	0.00	230.00	90.00	230.00	0.00	0.00	
廃油	現状	1.88	0.00	0.00	0.00	0.00	1.88	0.250	1.63	0.00	0.00	
	計画	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.80	0.15	0.25	0.00	0.00	
廃プラスチック	現状	120.48	0.00	0.00	0.00	0.00	120.48	84.930	79.50	0.00	0.00	
	計画	115.00	0.00	0.00	0.00	0.00	115.00	82.00	77.00	0.00	0.00	
動植物性残渣	現状	539.69	0.00	0.00	0.00	0.00	539.69	167.530	391.08	0.00	94.51	
	計画	520.00	0.00	0.00	0.00	0.00	520.00	162.00	379.00	0.00	95.00	
木	現状	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	1.09	1.090	1.09	0.00	0.00	
	計画	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
ガラス等	現状	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.000	0.06	0.00	0.00	
	計画	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	
金属くず	現状	0.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.91	0.00	0.91	0.00	0.00	
	計画	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	3,977.81	0.00	0.00	3,770.72	0.00	902.59	345.50	712.75	0.00	94.51	
	計画	3,837.75	0.00	0.00	3,600.00	0.00	867.75	335.15	688.20	0.00	95.00	

- ・汚泥（廃水処理場から出る汚泥）
自社で脱水処理 → 処理業者で肥料化及び緑化基盤材として再利用
- ・汚泥（廃水処理場から出る沈降残渣）
処理業者へ委託 → 処理業者で脱水処理後土壌改良材及び助燃材として再利用
- ・廃油（機械油）
処理業者へ委託 → 油水分離後助燃材として再利用
- ・廃プラスチック類（包装フィルム、資材他）
処理業者へ委託 → 処理業者で固形燃料にして売却
- ・廃プラスチック類（汚れプラスチック、設備工事後のプラスチック材）
処理業者へ委託 → 焼却処理後埋立
- ・動植物性残渣（ビスケット類、菓子かす、油脂かす）
処理業者へ委託 → 処理業者でメタン発酵処理
- ・動植物性残渣
処理業者へ委託 → 焼却処理後埋立
- ・廃ガラス類
処理業者へ委託 → 破碎処理後再資源化